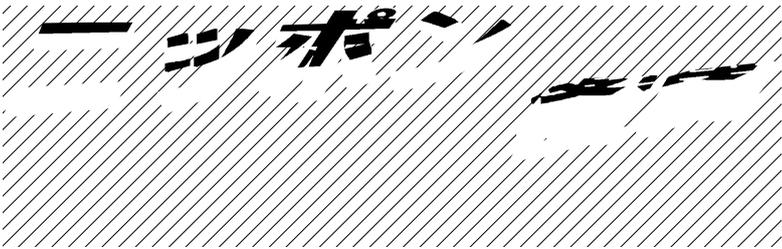


みぞぐちとし



東日本大震災は、未だに大きな爪痕を残しています。行方不明者の捜索もはかどっていません。

加えて福島第一原発の事故は日本全体に大きな影響を与えています。先日我が家にも妹の娘が神奈川から乳児を連れて、一時避難してきました。子どもは、食を作るための水が手に入らず、しばらく様子を見ようとのことです。また震災の影響は市内にも及び、品が入らぬ減産を余儀なく



余儀なく

され休業や一時待機している工場や紙が不足し注文に応じきれない印刷業界、建築用の合板が手に入らない等、至るところに表れていますしそれは長期化する恐れもあるようです。

た取組みを主とし、その観点から地方の在り方探るべきではないでしょうか。またこの非常時「民主党の国会議員は何をしているのか」としばしば尋ねられますが、県選出の「足立信也」は医者です。ので被災地に送る医薬品の注文、配送等に、「吉良州司」は仙石官房副長官のチームで被災者の救援対策に当り、今後の日本全体の復興策の策

「議案第114号」も修正

現在公民館の管理運営は、各地区の公民館運営協議会が実施しています。市では、これを新たに作る、「一般財団法人日田市公民館運営事業団」に一本化して管理運営を行わせるよう進めています。

これに伴い事業団に「市職員を派遣」するための条例ですが、派遣する事業団が明記されていないため、今後新たに考えられている公益的法人や第三セクター等にも職員を派遣する余地があること等でこの条例は先の22年12月議会では継続案件となっていました。

このため、市執行部から提案された原案部分の公益的法人等については「どこへ」でも、職員を派遣できると受止められる内容を「一般財団法人日田市公民館運営事業団」と明記し、その他の公益的法人等への派遣を規制すること、さらには各条項の職員を日田市一般職員と修正すると共に、特定法人に関する条項も削除修正しました。削除されたものには、退職派遣者の条項も含まれています。

このことにより、今後公益的法人等に市職員を派遣する場合は、全て「議会の承認」が求められることになり安易な職員の派遣に一定の歯止めが出来たと考えます。

しかし一回の議会で修正案が2つも採択されるという異例の状況になりました。



メールで送られた「記事」に掲載されている支援物資輸送の様子

定にあたるまた、「横光克彦」は救援物資をスムーズに被災地に送り届ける担当として、それぞれ不眠不休で活動しています。

「すべてを被災地支援に」

一日も早い復興を祈ります。

フラスワン

昨日統一自治体選挙の前半戦の首長、県議会議員選挙の投票開票があった。結果はともかくその投票率の低さには唖然とさせられる。政治離れが進んでいることのあらわれなのか。

歴史は戦争、戦争は経済、経済は政治と言われる。そのため歴史を調べるには政治を研究することだと指摘されているが、大切な政治が国民から遠く離れていくことに恐怖心かられる。

日田市でも県議選は定数3に対し5名が立候補し激戦が予想されたが結果は、前回は大きく下回る69.69%の投票率で約1万8千人の人が投票しなかったことになる。日頃から県政や市政の在り方に多くの意見を聞いているので、この数字の意味するものは何だろうかと思ってしまう。民意を表すまたとない機会が選挙と考えていただけに、投票率の結果に残念でならない。

しかし、民主党の停滞に腹が立つ。全国の結果を見れば総選挙と言いたいが大震災後非常時で無理。せめてリーダーの刷新が必要ではないか？

歴史文化を
守り育てる

★日田市の歴史読本発行事業

多くの文化財を有する日田市の、市町村合併後の全市を網羅した歴史や文化財が概観出来る歴史読本「日田市の歴史と文化財（改訂版）」の発行と文化財マップの作成。

予算額 438万4千円。

★日田市70年史編さん事業

昨年市制70周年を迎えたこと、また合併の経過を踏まえた平成13年度から22年度までの年史作成を行うもの。

予算額 303万9千円。

★小鹿田焼陶芸館整備事業

老朽化した陶芸館を小鹿田焼の作品の価値や伝統技術の伝承また重要文化的景観の資源を広くアピールするため建て替えを行うもの。

予算額 1億3,265万円

★豆田地区の町並みの保存と整備

- ・伝統的建造物群保存事業
予算額 5,614万2千円
- ・伝統的建造物群保存事業（防災事業）
予算額 1,400万円
- ・街並み環境整備事業
豆田地区の歴史・文化資源を活かした街並み形成のため、用地の公有化等を行うもの。
予算額 3,281万7千円

消費生活相談員の配置

年々増加する消費生活相談。しかも相談内容が多重債務から訪問販売、架空不正請求など複雑、巧妙化している。その苦情や相談に適切に対応し、必要に応じて相手方との斡旋などが出来る専門知識を持つ専任の相談員を1名配置するもの。

勤務時間 9時から16時45分まで
勤務日 月曜日から金曜日
(祝日を除く)
予算額 191万3千円

コミュニティバス運行事業

市内循環バス「ひたはしり号」を本格運行させ、朝日ヶ丘・桃山線、伏木地区の乗合タクシーを運行する。また、交通空白地域である朝日方面への運行を模索。

予算額 3,399万円。



大鶴・夜明
デマンドタクシー導入事業

「日田市地域公共交通総合連携計画」に基づき、大鶴・夜明地区に乗合タクシーによりJRの駅まで送迎するデマンド交通を導入。

予算額 1,084万6千円。

コミュニティ
交通の整備

観光・ツーリズム
日田の復活

★観光振興

基本計画策定事業

外国人観光客の増加や九州新幹線の全線開通などで日田観光を取巻く状況は大きく変わっている。その現状を分析し課題を明らかにし将来の観光客増加を目指すための基本計画を策定するもの。

予算額 991万2千円

★温泉旅館街

観光再生事業

料理研修会を開催し他地域の料理人との交流を深める中で新たなメニュー作りに取り組み、宿泊客等の「食」の満足度向上につなげる。また、ネット予約システムの整備を行うもの。

予算額 567万4千円

★旅行商品造成事業

JR九州などと協力して観光客の誘致を図ると共に阿蘇方面からの誘客を図るため津江を玄関とした新たな観光ルート作りや関西からの教育旅行の誘致に取り組むもの。

予算額 2,281万3千円

★天ヶ瀬温泉

まちづくり事業

天ヶ瀬温泉街の活性化を図るため「桜滝」周辺整備と駐車場整備、玖珠川のライトアップ等をおこなうもの。

予算額 3億4,442万円

●日田福岡直行バス運行

観光シーズン（春2月15日～3月31日、夏7月20日～8月31日）の土曜日（1往復）日曜、祝日（2往復）博多駅から日田までの直行バスを運行するもの。

予算額 527万1千円

3年度 新規及び主要事業

もうかる農林業の推進
「売る」「売れる」農林業

ブランドを育む園芸産地整備事業

競争力のある園芸産地づくりを推進するため、梨、ユズ、野菜などの栽培施設、生産基盤、機械等の整備について支援を行うもの。

予算額 3,641万8千円
〔補助割合〕
県1/3 市1/6 地元1/2
〔事業主体〕
大分県農業協同組合梨部会
柚部会
新規就農者

農業者の高齢化や担い手の減少により近年急速に荒廃が進む、中山間地域において耕作放棄地の発生防止や農地を保全するために、国の「中山間地域等直接支払制度」として協定参加集落へ交付金を支払い活動を支援するもの。

予算額 1億2,047万2千円
〔協定集落数 106集落〕
〔対象面積 田 670.1ha、畑1 70.5ha、
草地 23.2ha〕

中山間地域等直接支払制度 主に農村女性向けの施策

★農村女性後継者育成支援事業

女性は、農産物の加工・販売、地域活動の活発な担い手であるが、高齢化や後継者不足となっていることから、農村女性や農業に興味のある女性を対象に、組織にとられない女性市民講座を開催し意欲のある農村女性の育成と将来の担い手を確保するもの。

予算額 107万円

の新設、改修、加工機械等の購入、物流対策等に助成することで、生産量の増加と作業の衛生・安全性を高め、出荷量の増加については所得の向上を目指し地域の活性化を図る。

予算額 1,000万円
(補助率2/3 上限額200万円)

※事業効果

昨年度は20件の加工所で事業が実施され、安全衛生面や作業効率の向上、新商品の開発及び製造能力が向上した。

★農産物加工等推進緊急対策事業

農村女性グループ等が行う農産物加工所

林業振興・保全

★日田材需要拡大緊急対策事業

日田材の需要拡大を図りかつ地域経済を回復させるため、木造住宅の新築、改築等を行う施主・事業者の日田材を支給するもの。

予算額 5,250万4千円

〔補助条件〕

- ・木造住宅の新築、改築
- ・日田材が全使用料の約80%
- ・施行は市内の業者
- ・1棟当たりの支給限度額
新築 45万円 (70棟)

リフォーム 20万円 (100棟)
〔昨年度実績〕

新築103棟 リフォーム171棟
経済効果

木材販売額	2.1億円
新築工事費	11.7億円
改築工事費	3.5億円
計	17.3億円

★森林整備総合対策事業

林業経営意欲の低下から生産活動が循環しにくくなっていることから、国、県の補助に市が上乗せ助成し、所有者の負担軽減を図るもの。

予算額 1億3,050万円
〔補助率の例 (除間伐・利用) 〕
国51%、県17%、に市が上乘 18%でこの分所有者は軽減される。

★水郷ひたの森林景観整備事業

林業地としてのイメージアップを図るため、主要幹線道路沿線等の間伐等を実施して森林の眺望景観整備するもの。

予算額 1,790万円

〔23年度予定箇所〕

- ・萩尾パーキング周辺等3カ所

※旅館街からの森林景観について要望しています。

そ族昆虫駆除助成金

以前から実施されていた施策ですが、今年度から新たに「スズメ蜂等の駆除費用の助成」が加わりました。危険な昆虫のナンバー1で近年スズメ蜂の被害が多く報告されています。家の近くや身の回りで巣等と発見した場合活用できると考えます。

予算額 67万1千円

〔助成内容〕

費用の5割で上限が1万円です。

まず業者に連絡し駆除してもらい、そのあと市へ助成金を申請することになります。費用は平均で2万~3万5千円とされています



立木災害予防事業

「山林の適切な管理」が出来なく災害予防に問題がある所の環境保全を図るもの。

よく相談を受けるのにこの問題があります。採択条件に合えば活用できる施策と考えています。

予算額 200万円

〔採択条件〕

- ①65歳以上の世帯で、資金面、人的面で自力での整備が困難。
- ②放置すると災害発生時に、人家や公共施設に被害がおよぶ箇所。
- ③実施場所について、その地区の民生委員、自治会長が同意している。

2・3面に掲げた事業の外にも、生活面で直結する役立つ施策もあります。

小水力発電設備等設置事業

東日本大震災による原発事故以来、自然エネルギー活用の発電が注目されていますが、これもその一種で今年度は浄化槽センター、鏡坂公園、小ヶ瀬井路に設置し、施設内の電灯や街路灯等に利用します。

予算額 4,461万6千円

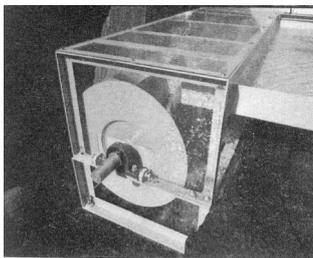
(内訳)

浄化槽センター 2,514万8千円

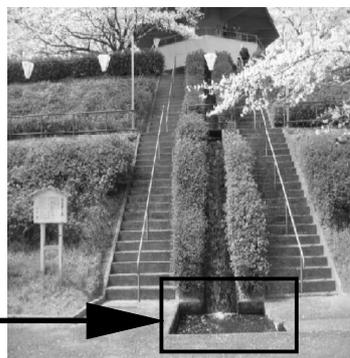
鏡坂公園 735万円

小ヶ瀬井路 827万2千円

※浄化槽センターと鏡坂公園に設置するものには「地域グリーンニューディール基金事業」の補助金2,953万6千円が活用されます。



この部分に、上図のような発電機が設置されます。



副市長相次いで任期途中で退職

石松副市長の辞任のあと空席だった副市長に昨年9月に起用された「穴井博文」氏がわずか半年で依願退職することになりました。

個人的にも親しく温厚な人柄で大変期待していましたが、2月下旬から病氣入院し3月の定例会議も欠席のままであり、「病氣」が理由のことやむなく至ったようです。

石松副市長も任期を1年半残しており、相次ぐ任期途中の辞任で個人的にも大変ショックを受けています。

道路行政に疑問符

2月2日高瀬林業センターで広瀬知事を迎え開催された「県政ふれあいトーク」で、道路行政について多くの意見や要望が出されました。

小畑、日田線の改良が中心だったと考えていますが、鹿本、日田線についての意見もありましたが、その中で「土木事務所」

が約束をしたのに、実施されていない。またそれについての経過も全く報告がないとの指摘がありました。

このような事実が生ずるなどはまったくもって行政の怠慢です。県、市を問わず係る事態が発生しないよう責任ある道路行政を強く強く指摘します。



※ 38号でお知らせした一面の予算の減額修正について、「予備費とし」となっていますが、正しくは歳入も含め2千386万円は全て「減額」ですので、お詫びし訂正します。

